

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 14
R4. 5. 24
(文責: 校長 菅家 篤)

読書で心のストレッチ!

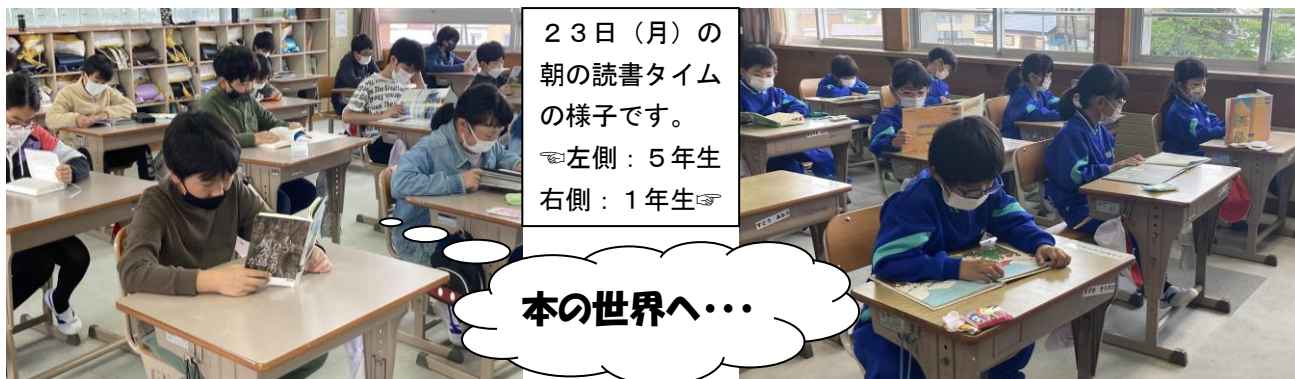


心は身体と同じで、いつも動かしていないと、すぐにカチカチに硬くなってしまいます。読書、映画、音楽、スポーツなど、よいものにふれると人は感動で心をふるわせます。これらのものには、人の心を揺り動かしてストレッチする柔らかな力があります。

みなさんは、最近、どんなものにふれて心のストレッチをされましたか？ 忙しい毎日ではありますが、上手に時間を見つけて心のストレッチをしたいものです。

そこで、親子で読書に親しみながら心のストレッチをしてはいかがでしょうか。本を一冊丸ごと読まなくとも、パラパラとページをめくって気に入ったところを読むだけでもよいと思います。また、ページをめくって気になる文や言葉に出合ったらマーカーでしるしを付けて、親子でそれぞれが気になったところについて感想を話し合ってみます。これだけでもその時間は楽しく充実したものになるかもしれません。

子ども達には読書に親しんでほしいと願っています。数年前のNHKのテレビ番組で、子どもを読書好きにするのに最も効果があるのは、「周りの大人が本を読んでいる姿を子どもたちに見せること」と言っていました。保護者の皆様にもぜひ、子ども達と一緒に読書に親しんでいただければ幸いです。



幸せ気分でするしつけ <その3>

～子どもをよりよい方へ動かす魔法のメッセージ～
ある親子のエピソードをまたひとつ紹介します。

《健太君のシャツ》

健太君のお母さんは、いつも健太君のシャツが気になっていました。お母さんは、健太君にシャツをズボンの中にきちんと入れてほしかったのです。でも、健太君はそんなことお構いなしです。思いっきり遊んでいると、いつの間にかシャツはズボンからはみ出しています。

お母さんはいつも言っていました。「健太、シャツ。ちゃんとズボンの中に入れてよ。」

しかし、言っても言っても健太君は聞きません。

ある日、お母さんは考えました。そして、健太君にシャツのことをうるさく言うのをやめました。そして、ひたすら待ちました。シャツがズボンの中に収まる日を。

そして、ついにその日が来たのです。学童保育に迎えに行くと、ズボンにシャツを入れた健太君が待っていました。「これだ!」とお母さんは、「健太、すてき。そうやってシャツをきちんとズボンの中に入れてある健太はすてき!」と伝えたそうです。

それ以来、健太君のシャツはきっちりズボンの中に入っているそうです。

このお母さんの子どもへの働きかけには、「バスマットのエピソード」と共通点があります。次回も、このような親子のエピソードを紹介します!